

おおどり



第 1 3 号

令和 8 年 3 月 2 日

学校教育目標 すすんで学ぶ子 あかるく健康な子 しんせつで優しい子
〒355-0072 東松山市石橋 1150-1 TEL 0493-22-2120 FAX 0493-22-2709

努力・経験の積み重ねが未来を切り拓く

三寒四温の折、梅のつぼみもほころび始め、梅香る優しい風に春の訪れを感じる季節となりました。先日は、学年末の授業参観・懇談会にお越しいただきありがとうございました。どの学年も学習のまとめや発表を行い、この一年間の子供たちの成長を感じていただけたのではないのでしょうか。



さて、今年にはスポーツの国際大会が目白押し的一年であると言われていますが、2月にはミラノ・コルティナ冬季オリンピックで盛り上がりました。日本では、金メダル5個、銀メダル7個、銅メダル12個の計24個のメダルを獲得し、冬季五輪における過去最多記録を更新しました。選手たちが必死に努力してきた成果を発揮し、一喜一憂している姿を見ると目頭が熱くなりました。選手一人一人の競技や演技をする姿にも感動しましたが、インタビュー等で残した言葉にもグッとくるものがありました。5位から大逆転、歴代最高得点で日本初の金メダルを獲得したフィギュアスケートの「りくりゅう」の三浦選手から木原選手にかけた「積み上げてきたものがあるから大丈夫」という言葉から、上手いかない経験を乗り越えたことで強くなった今があるという思いが伝わってきました。また、アルペンスキー女子滑降で転倒してしまったアメリカ代表のリンゼイ・ボン選手は、「勇気を出して夢を見て、その実現のために必死に努力してきました。思い描いていたかたちとは違う形で終わりを迎えました。後悔はしていません」と言っていました。結果がどうであったかに関わらず、一つ一つのことに自分を信じて一生懸命取り組むこと、そして、努力の積み重ねの大切さを教えてもらえたように思います。可能性が無限に広がる青鳥小の子供たちにも、努力や経験の積み重ねが未来を切り拓く力になると信じ、目の前のことに果敢に挑戦して欲しいと願っています。

【主任児童委員・民生委員連絡協議会】

2月17日に、主任児童委員・民生委員連絡協議会を開きました。今回は12月の改選で半数近くの方が新しくなりました。それに伴い、自己紹介と青鳥小の教育活動の紹介を中心に行いました。



【学校運営協議会】

2月26日に第3回学校運営協議会が行われました。1年間の学校の教育活動についてご意見をいただきました。今までの取組の定着と、新しい行事の形に挑戦している部分、児童への丁寧な対応に良い評価をいただきました。

今後も、保護者・地域と連携して教育活動を進めてまいります。

【赤い羽根共同募金】

地域福祉活動のための募金として赤い羽根募金を行いました。

ご協力ありがとうございました。

募金額 9,414円



2月の様子



1年 生活科(昔のあそび)

4日(水)に、昔のあそびを体験しました。こままわしやけん玉に挑戦し、なかなかうまくいかないながらも何度も練習し、こつをつかんだ子供たちもたくさんいました。



全校 給食感謝の会

4日(水)に、給食委員会を中心に、毎日の給食の準備や片付けでお世話になっている配膳員さん、校務員さんに感謝の気持ちを伝えました。



配膳員さんたちからも子供たちに温かいメッセージをいただき、給食大切さについて考える機会となりました。

全校 授業参観(17日・19日・20日・27日)

今年度最後の授業参観を行いました。たくさんの保護者の皆さんにご来校いただきまして、ありがとうございました。各クラス、学年さまざまな工夫を凝らし、学習の成果を発表することができました。



また、今回から実施した懇談会時の子供たちの留置きについて、学校応援団さんにご協力いただくことができました。ありがとうございました。



6年 松山中・南中 出前授業

25日(水)3校時に松山中の高橋先生、南中の三浦先生がそれぞれの中学校に進学する子供たちに向けて授業をしてくださいました。中学校での生活について、不安に思うこともあるかと思いますが、先生方の楽しい授業に中学校生活への期待が高まったようです。



5年 最高学年に向けて(掲示)

5年生が6年生に進級する意気どみと抱負を掲示物にしました。「役割を果たす責任をもった6年生に」「低学年に優しくできる6年生に」など進級に向けての熱い思いが伝わってきます。

